

ペットによる思わぬ事故が発生しています

猫が尿をかけたため、発火

事例
プリンターの電源ケーブル差し込み口付近から発火し、周辺の壁が焦げた。(2012年1月 熊本県)

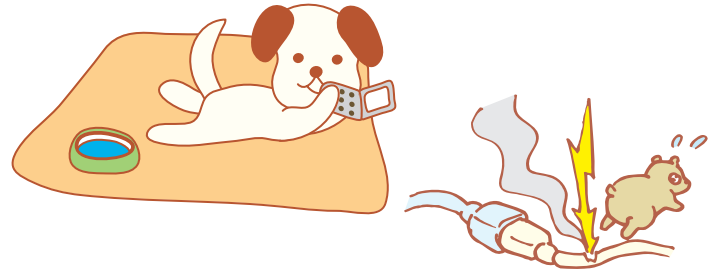
原因
プリンターに猫の尿が浸入したため、内部の基板がショートしたものです。



犬がかんだ携帯電話が破裂

事例
充電中の携帯電話と、その周辺を焼いた。(2010年7月 奈良県)

原因
携帯電話を犬がかんだため、電池パック内部の電極がショートして異常発熱が生じ、破裂して火災に至ったものです。



電源コードをかじった事故もあります



電源コード等をかじったり、ひっかいたりして、断線やショートさせることがあります。電源コードカバーやコンセントカバーを利用してください。

携帯電話などかじられそうなものは、放置しないようにしてください。機器のチャイルドロックなども活用しましょう。

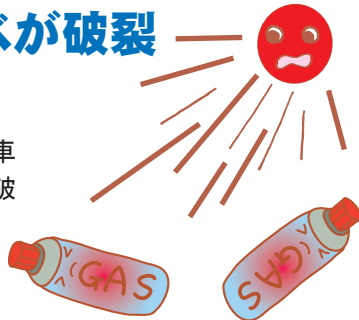
カセットボンベが破裂

事例
日中、屋外に停めていた車の中のカセットボンベが破裂して火災が発生した。(2010年7月 神奈川県)

原因
炎天下の屋外に駐車していたため、荷台に置いていたカセットボンベが高温になって内圧が上がり破裂し、引火したものです。



カセットボンベやスプレー缶など可燃性ガスが使用されているものは、高温のところには置かないでください。また、カセットコンロを2台並べて大きな鉄板をのせて調理したため、鉄板の放射熱でカセットボンベが爆発する事故も起こっています。



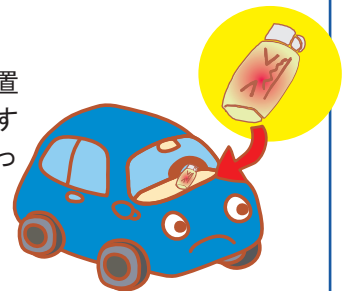
車中のライターが破裂

事例
ライターを自動車の助手席に置いていたら破裂し、耳鳴りがするなど耳が聞こえにくくなった。(2010年8月 愛媛県)

原因
夏の直射日光があたってライターが高温になり、内圧が上昇して破裂したものです。



ライターを直射日光のあたるところや高温になる場所には置かないでください。また、子どもの手の届くところには置かないなど、保管場所には気をつけてください。



古い扇風機から出火して全焼・やけど

事例
使用中の扇風機付近から出火し、住宅を全焼して1人が重度のやけどを負った。(2011年7月 宮城県)

原因
30年の長期使用により、部品が異常発熱し、スパークが発生して周囲のほこり等に着火したものです。

次の症状がみられたら使用を中止してください。
①スイッチを入れてもファンが回らない
②ファンの回転が遅かったり、不規則だったりする
③モーター部分が熱い、焦げ臭い
④モーターから異常な音がする
⑤コードが折れ曲がったり破損している
⑥スイッチを入れても回らないが、叩くと回り出す



【NITEの再現実験】

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

